

大歓声に包まれて
31輛の山車が一堂に集結！

はんだ山車まつり

はんだしまつり

5年に一度、半田市内10地区31輛の山車が一堂に集結する知多半島最大のイベントまつり。横一線に整列した山車の情景は圧巻。山車の曳き廻しやからくり人形の披露、宵祭りでの山車の提灯飾り、半田運河のちんとう舟と子供三番叟の舞、獅子舞など、半田の祭り文化を一堂に堪能することができる。

次回開催予定
2027年 10月

醸造・海運などで築いた富から
豪華な山車が誕生！

江戸時代からの酒、酢をはじめとする醸造や海運などによる経済力が半田の祭り文化の隆盛を支えました。精緻な彫刻や豪華な刺繍幕、からくり人形の妙技は動く芸術品と称されています。市内に山車を31輛も所有するのは全国的にも稀少で、山車組それぞれが「うちが一番!」と誇る、市民自慢の祭り文化です。



山車まつりの見どころ深掘り3選！

勇壮な山車の曳き廻しのほかにも魅力いっぱい山車まつり。深掘りした“ツウ”な見どころ3つをご紹介します。

伝統芸能

市内には、様々な形態の獅子舞や神子舞、子供三番叟の舞など伝統芸能が祭りで奉納されています。子供たちが演じるものも多く、懸命な姿をお楽しみください。「大獅子小獅子の舞」(上)、「ちんとう祭の三番叟」(下)。



彫刻(彫もん)

亀崎中切組力神の桶箱彫刻「力神」をはじめ、山車に飾られる木彫り彫刻は、各時代の名匠の手による傑作揃い。ぜひ各山車自慢の「彫もん」を見比べてください。

からくり人形

人形の煌びやかな衣装、豊かな動き、場面転換、そしてあっと驚くからくり仕掛けは見る人を魅了します。亀崎田中組神楽車の「傀儡師(かいらいし)」は江戸中期の竹田からくりの流れを汲む「生きた化石」と云われています。



半田市立博物館

はんだりつつくふつかん

からくり人形の操作体験をはじめ、半田の歴史・祭礼・醸造などについて学べる博物館。実物の山車を常設展示しており、4か月毎の山車の入替時には組立・解体の様子も見られる。



山車のまち半田

悠久なる歴史と伝統！熱気みなぎる祭り文化
古くは300年以上受け継がれてきた半田の祭り文化。豪華な山車と祭り人(まつりびと)の情熱が織りなす勇壮華麗な世界をごらんあれ！

ii kamo! Handa dashi no machi

ページ掲載情報をさらに詳しくご紹介！
WEBサイト「半田市観光ガイド」
▶山車のまち半田



半田市指定天然記念物

萬三の白モッコウバラ

小栗家門庭にある樹齢150年超の日本最古最大級の白モッコウバラ。晩春に開花し優雅な香りを放つ。歳月を経たツルがハート形であることから半田市の結婚記念証デザインに。



萬三の白モッコウバラ祭

開花時期には地域全体で開花を祝うイベントを開催。挿木した苗木販売のほか、萬三の白モッコウバラ花酵母で造ったお酒や、近隣菓子舗にて限定和菓子などが販売される。



unga

小栗家住宅内にある半田の発酵と醸造文化の情報発信拠点。建物のかつての「萬三商店」事務所で、当時の趣あるカウンターが迎えてくれる。観光案内や地域の醸造品販売のほか、発酵ガストロノミーツアー、豪商文化のひとつであるお茶に特化したイベントなどを企画運営する。

発酵と醸造の歴史文化を半田から世界へ発信

半田は粕酢発祥の地であり、品質技術の高い醸造メーカーが多数集まる「発酵と醸造のまち」。現在、世界中から「UMAMI(旨味)」が注目されるなか、半田が誇る発酵と醸造文化を世界へ向けて発信するさまざまな取り組みを行っています。



各種醸造品の飲み比べでは、発酵・醸造の製法による旨味の違いを感じられる。



ギャラリーイリマル

ぎゃらりーいりまる

ガラス・陶器のギャラリーショップ。器やアクセサリ作品の販売のほか、酢や酒の廃瓶を再利用したガラス工芸ワークショップが体験できる。



丸初製菓本舗

まるはつせいこうほんぽ

明治26年創業。季節ごとの旬の果物を丁寧に包んだ「フルーツ大福」は、ジューシーな果肉と羽二重餅、餡のバランスが絶品。名物「ちんとう最中」も人気を誇る。(P16)



若松軒菓子舗

わかまつけんかしほ

明治10年創業。自家製黒蜜を使ったあんみつはテイクアウトもできる。華やかな季節の生菓子には目にも味にも職人の技が光る。地元食材を使った焼き菓子や玄米志る粉もおすすめ。(P16)



松華堂菓子舗

しょうかどうかしほ

江戸後期創業の老舗菓子舗。伝統的な製法を守り、週替わりの彩り豊かな生菓子・棗菓子は全国の茶人にも名高く各種茶会に重用されている。みそやたまりの焼き菓子も。(P16)

魚太郎 蔵のまちカフェ

うおたろう くらのみちかふえ

鮮魚市場の魚太郎が営むカフェ。知多半島でその日に水揚げされた旬の魚介を使ったメニューが堪能できる。半田土産や発酵・醸造品が並ぶショップコーナーも。回転鮎 魚太郎半田店(P14)隣接。

柔らかく炊き上げた南知多産「生炊きしらす」は、地元主婦にも人気の逸品。

